

日本医史学雑誌 第67巻 第2号

目 次

第122回 日本医史学会総会・学術大会 演題目次

プログラム

公開講座 特別講演

- 江戸の流行り病と人々の暮らし
——幕末の疱瘡と種痘導入をめぐる—— …………… 鈴木 則子 143
- 人類に適応を成し遂げた病原微生物
——結核と新型コロナウイルス—— …………… 佐野 千晶 147

緊急提言

- コロナ禍における医史学の役割…………… 加藤 茂孝 151

教育講演「出雲地方の医学史・洋学史」

- 出雲国の医学…………… 梶谷 光弘 155
- 社会史的にみた近世島根の医療…………… 岡 宏三 157

パネルディスカッション「中国医薬・鍼灸の自国化再考」

基調講演

- 日本医学史のなかの中華幻想…………… 橋本 雄 161

研究発表

- 日本漢方の鼻祖、田代三喜の医学…………… 鈴木 達彦 166
- 琢周と琢周流鍼術の虚像と実像…………… 長野 仁 169

一般演題

- ペラグラ 第4報
——イタリアにおけるペラグラ禍の発生から終焉まで—— …………… 伊藤 泰広 176
- 17世紀ドイツにおける医学自然学雑誌の創刊 …………… 安西なつめ 177
- ゼンメルワイス前史：知られざる塩素消毒の先駆者達…………… 佐藤 裕 178
- ゲーテと医療（第6報）
——その作品にみるゲーテの医師観と医学教育理念について——
…………… 鈴木 重統 179
- 16世紀前半の医学学習指南書 …………… 澤井 直 180
- 『ヒポクラテス集典』のこと …………… 坂井 建雄 181
- 韓流メディカルドラマ「馬医」のもう一人のモデル任彦国…………… 吉村 美香 182
- 筑後久留米藩主有馬頼咸公の最後の病状
——平川良栄と高松凌雲と佐藤進が診療—— …………… 中山 茂春 183
- 医業類似行為を行える医療資格者について…………… 清野 充典 184
- 1926年の自然療養社による小酒井不木『闘病術』批判について
…………… 渡部 幹夫 185

11	熊本藩の医学教育……………	松崎 範子	186
12	明治期以降第二次世界大戦前の“スペインかぜ”・ インフルエンザ超過死亡と罹患，死亡……………	逢見 憲一	187
13	横浜居留地にあった外国系公共病院……………	山田 裕道，若尾 みき，酒井 シヅ	188
14	島根県医学校長を務めた佐々木文蔚： 青森県初の医学士の生涯と業績……………	佐々木俊徳	189
15	群馬県立病院長山崎泰輔の管内巡回について……………	須長 泰一	190
16	医療における性問題……………	岡田 靖雄	191
17	大塚薬報に見る輸液容器の変遷……………	岩原 良晴	192
18	伝染予防看護におけるマスク記載の変遷……………	鈴木 紀子	193
19	検索語の近接度を限定できる漢方テキスト複合検索データベースの構築 ……………	星野 卓之，周防 一平，加畑 聡子，小田口 浩，花輪 壽彦	194
20	日本統治下台湾の精神医療施設……………	橋本 明	195
21	三代目陸軍軍医総監石黒忠恵と新潟県長岡素封家高橋家……………	岩下 哲典	196
22	乳児死亡率減少の視点からみた日本の母子健康手帳の役割の変化 ……………	中村 安秀	197
23	日露戦争における陸軍病院船の運航状況……………	柳川 鎌平	198
24	板橋の渋沢栄一養育院長銅像の数奇な運命……………	稲松 孝思	199
25	明治12年における岡山のコレラ流行と木野山信仰……………	木下 浩	200
26	占領期日本の衛生教育に関する研究 ——映像記録にみる「公衆衛生列車展覧会」—— ……………	田中 誠二，杉田 聡，丸井 英二	201
27	日本赤十字病院の戦前の海外における事業展開と現在（朝鮮編） ……………	福永 肇	202
28	歯槽膿漏症図像はどう描かれてきたか……………	竹原 直道，安細 敏弘	203
29	日本の医療情報システムの勃興： 医療機関のコンピュータ導入に注目して……………	奈須野文槻	204
30	サンタ・マリア・ヌオヴァ病院の創設と発展……………	柳澤 波香	205
31	アメリカ女性病院による関東大震災への医療支援と 日本人女性医師について……………	藤本 大士	206
32	癌国際連携の機運と歩み……………	河原ノリエ	207
33	1890-91年の富士川游： 『普通衛生雑誌』と『報知新聞医事月報』の合併を中心に……………	月澤美代子	208
34	日韓の医学に及ぼした藤浪鑑の影響 ——基礎医学と医史学を中心に——……………	李 桜源	209
35	華岡青洲の「瘍科方笈」は「瘍科瑣言」に準拠して成立したのか……………	松木 明知	210
36	西鶴作品にみる身体に関する語（九）……………	計良 吉則	211
37	幕末に招聘された外科医サヴァチェの医業績について……………	江沢 暁彦	212

38	吉雄流外科3：菟口篇	板野 俊文	213
39	美濃郡上藩の医術・医学伝習世話役たち	森永 正文	214
40	各務文献著『整骨撥亂』について	今井 秀	215
41	本居宣長の医学と『古事記』	吉川 澄美	216
42	全国の華岡流全身麻酔下乳癌手術件数	土手健太郎, 藤谷 太郎, 矢野 雅起, 高石 和	217
43	鳥取藩在村の医療環境——嘉永・安政期「在方諸事控」の検討	海原 亮	218
44	茶と医薬——忍性と梶原性全——	岩間眞知子	219
45	日本で最初の西洋式病院 長崎養生所の男性看病人	平尾真智子	220
46	正倉院文書の「茶」は茶か	梅木 春幸	221
47	引痘策問十五條	山内 一信, 不破 洋	222
48	養生文化と伝承者榮西禅医に関する思考	小磯まり子	223
49	「喫茶養生」を実践した茶人たちの健康寿命	白井 宗佐	224
50	小森桃塙著『泰西方鑑』の引用書からわかった ライデン学統の Iatrochemistry の影響	相川 忠臣	225
51	古代日本におけるマスク文化発祥の歴史と現在社会への影響	安細 敏弘, 高瀬万里子, 赤崎 優, 大南 裕樹, 桑原 良英, 竹原 直道	226
52	奈良時代の『金光明最勝王経』の修法と香薬 その2	安部 郁子	227
53	三宅春齡『補憾録』再考	青木 歳幸	228
54	医史学にみる「習合」と「分離」	西巻 明彦	229
55	『医学院学範』にみえる医学院の学習手順と畑黄山の儒書観	向 静静	230
56	近代日本の医療活動にみる看護	山口 静子	231
57	難波抱節旧蔵『神遺方』注釈書について	清水 信子	232
58	『海上懶翁医宗心領』の「内経要旨」について	浦山 きか	233
59	古活字本医書の出版で知られる梅寿と その寛永5年版『素問/靈枢註証発微』について	町 泉寿郎, 小曾戸 洋	234
60	東京国立博物館所蔵の『五躰身分抄』について	富田 貴洋, 長野 仁	235
61	針灸の「年神」禁忌の日本における受容と変容 ——『座右抄』における「年神」を中心に	範 駿	236
62	『鍼灸要法』と『鍼灸要穴法』『十四経穴治法』の関係について	谷田 保啓	237
63	井上恵理の脈診について	周防 一平, 小田口 浩, 花輪 壽彦	238
64	『難経存疑』執筆に用いられた『難経本義』整版について	宮川 隆弘	239
65	新出の西村流『家伝鍼灸秘録』について	加畑 聡子, 星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦	240
	投稿規定		245
	編集後記		247